

令和2年度

令和2年5月8日



遷喬小だより

5月号①

TEAM 遷喬 PRIDE 遷喬

～子どもも 教師も 地域も 伸びる学校～

新型コロナウイルスに負けないために

正しく恐れ 守りを固める 新しい生活様式

★大事にしたい考え方

新型コロナウイルス感染症は、全国的には感染が縮小に向かいつつありますが、いつだれが感染してもおかしくない状態は、残念ながらしばらく続くと考えざるを得ません。

学校を再開して教育を行う限り感染リスクを完全には回避できません。「もしも・・・」という不安や困難の中で教育活動を進めざるを得ません。

このような状況の中で、教育活動を継続するにあたって、大事にしたいことがあります。感染症予防対策で、最も大事にしたいことは、「人の命と命を輝かせる人権」だと思います。これは遷喬小の指導の重点でもあります。

ところが、全国各地で不確かな情報や誤った認識に惑わされて、人権侵害につながるようなことが大きな課題として浮かび上がっています。不安や恐怖は過剰な反応を呼び起こし、無神経な詮索、誹謗中傷、嫌がらせ、差別等々を生み出しがちです。守るべきものは命であり人権です。敵は、未知のウイルスであり恐怖です。それに立ち向かうために、人は知恵をしばっていかなくてはいけないときだと思えます。

令和元年度の卒業生に「はなむけの言葉」として贈った話の一部を紹介します。

「考える力を磨いてほしい。」「この一年取り組んできたThink&Actionを忘れないでほしい。」「皆さんが生きていく時代は、今後ますます情報に満ち溢れた社会になっていくでしょう。様々な情報の中から、自分はどう考えるのか、どう行動するのか、判断する力が求められます。身近な生活にSNSは欠かせない道具となっている時代だからこそ、情報に振り回されず、正しく判断できる力を磨いてほしいと願っています。

今、新型コロナウイルスと向き合うための新しい生活様式が求められています。具体的には、「三密を避ける」「マスクをする」「手洗い、うがいを徹底する」「こまめに換気をする」等々です。リスクを回避するために何ができるのか知恵を出し、その知恵を子どものために学校・行政・保護者・地域全体で生かしていかなくてはいけないと思えます。

状況は日々変わるので、何が起ころかわかりません。その中で、可能な限りの感染予防対策を行いながら、学ぶ権利を支える教育活動を工夫していきたいと思えます。

学校再開！子どもたちの声が響く学校 当たり前のことに感謝！



1年生：図工。笑顔がかがやく自分の顔。のびのびと描きましたね。



1年生：ひらがなの学習。先生のお手本をよく見て一生懸命学んでいます。



2年生：立腰タイム。良い姿勢です。落ち着いた朝のスタートです。



3年算数少人数指導
「きく」ことを大切にしています。学習の流れが示されており、見通しが持てますね。



3年生：地図記号や本が並んでいます。子どもたちの興味を引く工夫がなされています。



4年生：見事な靴そろえ。心もそろっていますね。



読書指導
今年もたくさん本を読んでください。



トイレや遊んだ後、そして、給食前はしっかり手洗いをします。



学年フロアの扉を大きく開けて常に換気をしています。遷喬のオープンスペースを生かしています。

5年生は、壁を移動し中教室をなくし、広い2教室で学んでいます。委員会も始まり張り切って活動しています。期待通りのスタートです。

6年生は、いろいろな制限がある中でも下級生のためにできることを探して、縦割り班活動や1年生を迎える会の計画をたててくれています。最高学年の顔になっています。

令和2年度 遷喬PTA役員

会長	平尾信弘				
副会長	稲田勝信	浅雄あさひ	住田明大	金田 司	
監事	植田泰道	浜田寛子	(職員代表)	片山雅人	坂本佳世子
事務局	(書記) 長鉾裕子		(会計)	高取正人	西尾廣美

令和2年度の遷喬PTA執行部の皆様が承認されました。よろしくお願いいたします。
PTA会員の皆様には書面表決にご協力いただきありがとうございました。

5月15日(金)にPTA学年委員会並びにPTA専門部引継会を開催し、令和2年度の新役員が確定する予定です。